

みえ市民活動・ボランティアニュース

2012

9

2012年8月25日発行
通巻165号

ひろげる つなぐ かえる



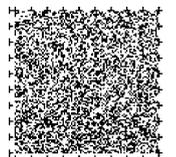
熱中手帖。-これまで×これから- vol.3

農業法人せいわの里 まめや

代表取締役

北川 静子

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



熱中手帖。

-これまで×これから- vol.3

地域の宝を 次の世代へつなげたい

農業法人せいわの里 まめや

代表取締役 北川 静子

地域の高齢化・後継者不足に気づく 団体を設立したきっかけをお聞かせください。

旧勢和村（現多気町）のJAが食味計を導入した時、面白半分に地元で獲れたお米を計ってみたら、有名なブランド米にも劣らない数値が出たんです。いつも当たり前のように食べているお米が、実はすごく美味しいものだったと気づいた時、私たちの地域には素晴らしい宝が隠れているんだと思ったことが始まりでした。

当時、私はボランティアグループの一員として、このおいしいお米に合う味噌や漬物を作り、地元のイベント等で販売していました。しかし、10年経った時、グループのメンバーが高齢化してきていることに気づいたんです。これから10年先を考えた時には、自然消滅しか思い浮かびませんでした。

そんな危機感を他のボランティアグループに話したところ、他のグループも「高齢化」と「後継者不足」に悩んでいたことが分かったんですね。「地域全体がそうだったんだ。このままではせっかくの素晴らしい宝が地域から失われてしまう」そんな想いが芽生

えてきたんです。

特に、地域の山や田畑、ものづくりの知恵や技術などは、辛うじて高齢者の力で保たれている状態でした。彼らが元気なうちに次の世代へつなげたい。そのために、“本気”で行動してくれるメンバーと一緒にあって、「農業法人せいわの里」の立ち上げを決意したんです。

後進のために何としてでも成功させたい 法人立ち上げから「まめや」オープンまでの経緯をお聞かせください。

農村文化を次の世代につなげて地域を活性化させる。その想いに賛同した地域の人たちが、法人設立のために出してくださった貴重な出資金を無駄にしないためにも、起業のための勉強会へ行ったり、夜遅くまで書類作りをしたりして、自分たちでできることは何でもやってきました。

そして、若い人たちに興味をもってもらうためには、事業として成功することが大事だと考え、活動

拠点として、現在の「まめや」を作ろうと考えました。

ギリギリの資金計画でしたから、食器や包丁などの備品は自分たちの家にあるものを持ち寄りました。地元のおばあさんたちは着物をほだいて座布団を作ってくれましたし、おじいさんたちは竹でメニュー立てや楊枝立てなどを作ってくれました。豆腐については、昔ながらの製法にこだわりたいかったので、村に一軒残った豆腐屋さんから作り方を教わり、絞り機やミキサー、フライヤーなど専用の機械まで譲っていただきました。そうして、ようやく「まめや」をオープンすることができたんです。

開店してから1年間は、とにかく“がむしゃら”でした。早く「まめや」を軌道に乗せたかったし、メンバー同士でも「何としてでも成功させやないかん」と言っていましたね。というのも、地域の中で法人設立、活動拠点づくり、レストラン事業を、住民が一からすべてやったのは、私たちが初めてだったんです。私たちが成功しないと、次に続く人たちが出てこない。だから、何としてでも成功させないと、という想いでいっぱいでした。

さまざまな苦労がありました。今の「まめや」が成り立っているのは、ここに関わっていただいた地域の皆さんの「知恵」と「地域を想う心」のおかげだと思っています。



地元野菜で作る“農村料理バイキング”
連日多くの人で賑う

一番の資源は「人の心」 ～郷土愛を育む仕掛けづくり～

地域の今後のために取り組まれていることは何ですか？

「まめや」には若い世代が入ってきてくれたおかげで、農村文化をつないでいく形ができてきたんですが、野菜を作る「生産者側」には次の世代が不足しています。そこで、野菜作りの楽しさや張り合いを感じてもらいたいという想いから、直売所をオープンしました。直売所では、農家さんに「おから堆肥」を差し上げ、低農薬もしくは無農薬で、安心な野菜を作ってもらい、売り上げの5%を「農村応援費」として貯え、農業に興味を持った若者たちが農業を始める際の経費として利用する仕組みになっています。

また、「まめや」では子どもたちが摘みとってきた「つくし」などの山菜を買っています。子どもたちにとっては良い“お小遣い稼ぎ”になるのでいっぱい持ってくるんですが、お客様が「このつくしって本当に美味しいね」「つくしが採れるこの地域って良いところやね」と褒めてくれるのを、そのまま子どもたちに伝えているんです。

子どもたちには、すぐに実感として伝わらないとは思いますが、地域が褒められたことをきっかけに“当たり前”だと思っていることを、ちょっと違った視点で見たい。それが、自分が生まれ育った場所への愛着や魅力の発見へとつながると思うんです。そういう「郷土愛を育む」ための仕掛けを積み重ねているんです。

私は、一番の資源は“人の心”だと思っています。「地域を大事にしたい！良くしたい！」という想いで、農村文化で培われた「地域の宝」を、次の世代へ残せるよう努力していこうと思っています。



さまざまな年代のメンバーと一緒に
働くなかで農村文化が繋がっていく

DATA

農業法人せいわの里 まめや

住 所 〒519-2211
三重県多気郡多気町丹生 5643 番地
Tel & Fax 0598-49-4300
E-mail mameya@ma.mctv.ne.jp
ホームページ <http://www.ma.mctv.ne.jp/~mameya/>

代 表 者 代表取締役 北川 静子
資 本 金 986万円
法人設立年月日 平成 15年 11月 25日
従 業 員 数 35人
営 業 時 間 午前9時～午後5時(定休日:木曜)

お詫びと訂正

本誌 8 月号の「助成金情報」コーナーで、「東海ゴム『TRY 夢・街・人づくり助成金』」とご紹介しましたが、「東海ゴム『TRI 夢・街・人づくり助成金』」の誤りです。

※ TRI = Tokai Rubber Industries, Ltd.

関係者ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

まちづくり 福祉 芸術 環境

東海ゴム『TRI 夢・街・人づくり助成金』

～まちづくり応援プログラム～ in 松阪・明和・多気・大台

受付期間 8月31日(金) 当日消印有効

対象団体 松阪市・明和町・多気町・大台町で活動する市民活動団体

対象活動 東海ゴムが重点的にとり組む障害者福祉に関する事業、環境との共生を図る事業など5つの分野、ならびに「2つ以上のセクターが連携した事業」(NPOと企業・行政・学校など)のいずれかに該当すること。
※詳細は HP 参照

助成金の額 1) 夢づくりスタート部門 上限5万円(3団体)
2) 街・人づくり部門 上限10万円(2団体)
※優秀事業には別途、奨励金3万円を交付

応募方法 HPから申請書類をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の提出書類を添付し郵送、または直接持参。

問合せ先 松阪市市民活動センター 事務局
〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階
Tel 0598-26-0108 (石丸・澤)
Fax 0598-25-3803

HP <http://www.katsudou.com/>

子ども

住友生命 子育て支援活動の表彰 「未来を強くする子育てプロジェクト」募集

受付期間 9月14日(金) 必着

対象団体 より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体

- ① 子育て支援に資する諸活動を継続的に行っていること
- ② 活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること
- ③ 活動の公表を了承していただける個人・団体であること
- ④ 日本国内で活動している個人・団体であること

表彰 ◎文部科学大臣賞…表彰状(未来大賞の1組に授与)
◎未来大賞…表彰状、副賞100万円(2組程度)
◎未来賞…表彰状、副賞50万円(10組程度)

応募方法 HPより応募用紙をダウンロードし必要事項を記入、指定の資料を添付して郵送。
※詳細は HP 参照

問合せ先 「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局W係
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル
Tel 03-3265-2283 (平日10:00～17:30)

HP http://www.sumitomolife.co.jp/mirai_child/child_care/bosyu.html

国際

第6回かめのり賞募集

受付期間 9月14日(金) 必着

対象団体 5年以上の活動歴を持ち、下記の活動に携わるNPO法人、ボランティアグループ、個人。

- 対象活動**
- ① 国際交流・協力に係る活動
 - ② 多文化共生に係る活動
 - ③ 国際貢献に携わる人材を育成する活動

特に2011年3月の震災の被災地域やその影響を受けた地域の方々、およびそれらの地域を応援する活動からの積極的なご応募をお待ちしています。

表彰 正賞の記念の楯および副賞として50万円の活動奨励金を贈呈(10件まで)

応募方法 HPから応募用紙と推薦書をダウンロードし必要事項を記入、今年度の事業計画書・予算書など指定の書類と併せて送付。

※詳細は HP 参照

問合せ先 (公財)かめのり財団 「かめのり賞」係

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-5 共立麹町ビル103号室

Tel 03-3234-1694 Fax 03-3234-1603

HP info@kamenori.jp

HP <http://www.kamenori.jp/kamenorishou.html>

福祉

第10回読売福祉文化賞(2012年)募集

受付期間 9月30日(日) 当日消印有効

対象団体 障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加、共生の推進などに貢献している団体および個人を、高齢者を支援する福祉活動を対象とする「高齢者福祉部門」と、障害者福祉を中心に福祉全般を対象とする「一般部門」の二部門に分けて募集。(活動年数・設立年数不問)

※詳細は HP 参照

表彰 ◎一般部門…賞牌と活動支援金各100万円(3件)

◎高齢者福祉部門…賞牌と活動支援金各100万円(3件)

応募方法 HPより「福祉文化賞2012申請書」をダウンロードし必要事項を記入の上、〒104-8243(住所不要)読売光と愛の事業団・読売福祉文化賞係へ郵送。

問合せ先 読売光と愛の事業団・読売福祉文化賞事務局

Tel 03-6226-7633

HP <http://www.yomiuri-hikari.or.jp/work/report/prize.htm>

災害ボランティア

赤い羽根

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」第9次助成

受付期間 9月1日(土)～28日(金) 必着

対象団体 被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方がたへの救援・支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等であって、次の要件にあてはまる非営利団体

三重県 NPO 法人活動実態調査報告 3

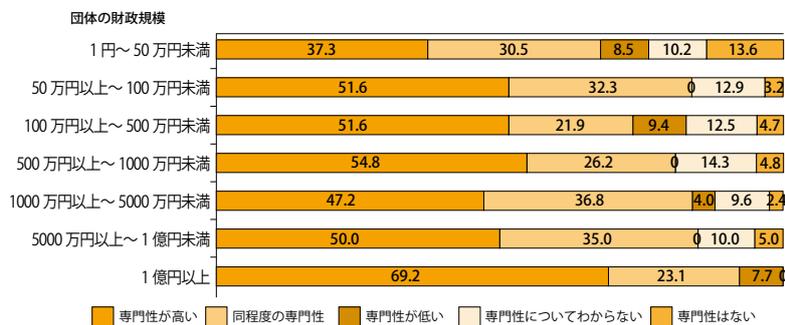
II 調査結果

(2) 公益活動の実践状況

今月号は「公益活動の実践状況」の中から、NPO 法人が提供する「サービスの専門性」を抜粋し、ご紹介いたします。「サービスの専門性」とは、NPO 法人が提供しているサービスについて、同種のサービスを提供する企業や行政の担当部署と比較した場合の「専門性の高さ」を調査したものです。

この設問の調査対象となった NPO 法人 397 団体のうち、49.1% の団体が、企業や行政に比べて提供しているサービスの専門性が「高い」と感じており、「同程度」の 30.5% も含めると 79.6% の団体が、企業や行政に引けをとらない専門性があると考えています。

「財政規模」と「専門性の高さ」の関係性について

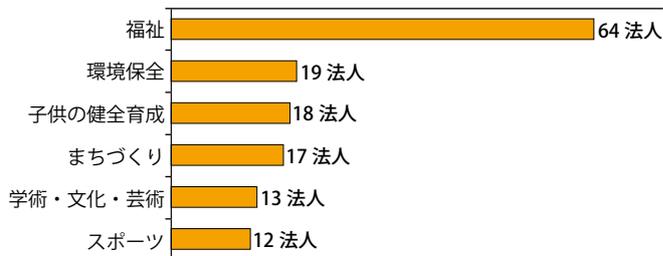


団体の財政規模が大きくなるほど、企業や行政と同程度以上の専門性があると考えられる傾向にあります。

「財政規模」と「専門性の高さ」の関係をグラフにすると、その傾向が如実に現れます。

活動分野別の専門性

「専門性が高い」と答えている NPO 法人数 (上位 6 分野)



NPO 法人が「専門性が高い」と答えている活動分野では、「福祉」の数が圧倒的に多く、続いて「環境保全」「子どもの健全育成」「まちづくり」の順に続いております。調査対象となった活動分野 22 のうち、上位 6 分野をグラフで表示しました。

次号は、「組織運営体制」から抜粋したものを掲載する予定です。

- ・ 救援・支援活動の実態があり第三者から活動の実態が裏付けられること。
- ・ 5 名以上で構成されていること。
- ・ 助成を受けて行った事業について、中央共同募金会ホームページでの公表が可能なこと。

- 対象活動**
- ① 東日本大震災で被災された方がたを支援するボランティア活動等全般。
 - ② 被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とする。
- ・ いずれも 2011 年 3 月 11 日以降の活動を対象とする
 - ・ すでに活動が終了した部分についても、さかのぼっての応募を可能とする

助成金の額 短期 (おおむね 1 か月未満) の活動: 50 万円以内
 中長期 (1 か月以上) の活動: 300 万円以内
 ※詳細は HP の「応募要項」を参照

応募方法 HP から応募。HP から応募できない場合に限り、HP から応募書類をダウンロードし必要事項を記入して郵送
問合せ先 社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部(ポサボ担当) 〒100-0013

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階
 Tel 03-3581-3846 Fax 03-3581-5755

E-mail support@c.akaihane.or.jp

HP http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html

E-mail **HP** ホームページ

募集とご案内

パープルリボン 2012 in 津

ウォーク&医療セミナー ～希望を創ろう～

膵臓がんは、発見時に既に進行していることが多いがんで、しかも「難治性がん」。外科手術ができるのは全体の20%。早期発見・早期治療が治療のカギとなります。

この膵臓がんを撲滅するために、今回、(特活)パンキャンジャパンと三重大学、三重大学病院が協力して、啓発ウォーク&セミナーのイベントを行います。

日時 9月9日(日)

【第1部】 ウォークイベント

『パープルリボン ウォーク 2012 in 津』
2km、5kmの2コースで、名勝地の三重大学構内をウォークします

時間 9:00～11:30

場所 三重大学 三翠ホール前

募集人数 200名

【第2部】 膵臓がん医療セミナー

『パープルリボン 2012 in 津』

時間 13:00～

場所 三重大学医学部

臨床3講義棟

(津市江戸橋2丁目174)

募集人数 300名

※詳細はHP参照

応募方法 ①HPから直接申込み

②件名「9/9 津出席申込」と氏名、立場(患者・家族・医療関係など)、住所、電話番号、メールアドレスを明記しFaxまたは郵便で申込み

応募締切 9月6日(木) 必着

問合せ先 (特活)パンキャンジャパン

9月9日申込宛

〒102-0071 東京都千代田区
富士見1-12-1 Q-DAN 1991
5階

Fax 03-3221-1422

※問合せはE-mailで

メール 0909prc@pancan.jp

HP <http://www.pancan.jp/>

スリランカの文化にふれよう

「スリランカフェスティバル in 鈴鹿」

日本・スリランカ国交樹立60周年、鈴鹿市制70周年を記念して、「スリランカフェスティバル in 鈴鹿」を鈴鹿市文化会館で開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。

日時 9月13日(木)

場所 さつきプラザ 入場無料
14:30～17:30

①シンポジウム「日本とスリランカへ最新の動き」

②スリランカ紅茶試飲とセイロン瓜の試食

③発表「セイロン瓜プロジェクトと鈴鹿市」

場所 けやきホール 有料:3,000円
18:00～19:30

チャナアップリ スリランカ民族舞踊団公演(※航空券等が当たる抽選付)

主催 日本スリランカ国交樹立60周年記念事業実行委員会

問合せ先 鈴鹿国際大学 スリランカ
フェスティバル担当
Tel 059-372-2121

障がい者のスポーツ講演会のお知らせ

「これからの障がい者のスポーツと報道のあり方」

今年はオリンピック・パラリンピッククイヤーでしたが、スポーツがショー化されていく中でスポーツを取材・報道するあり方が問われています。

障がい者のスポーツ報道を志し、自らも精神障がい者としてスポーツを愛する立場から長年にわたり地道に報道誌を発行し続けている、有竹利恭氏による障がい者スポーツ報道講演会を開催します。障がい者団体や障がい者のスポーツを愛する皆様のご参加をお待ちいたしております。

講師 有竹利恭氏

市民活動団体ライズ代表/障がい者のスポーツ情報誌「ライズ」編集長

日時 9月29日(土) 13:30～15:00

場所 四日市市なやプラザ 第3会議室
(四日市市蔵町4-17)

応募方法 TelまたはFaxにて申込み

応募締切 9月20日(木)

問合せ先 障がい者のスポーツ広報実行委員会
Tel & Fax 059-339-1134

講演会と意見交換会

「大地震・大津波に備えて、川口先生と語ろう」

近い将来に発生が懸念される大地震・大津波に対して、我々市民はどう備えればよいのか?!

三重大学の川口淳先生のご講演を聴いた後、環境保全活動に取り組む市民としてできること、なすべきことを参加者同士で意見交換します。

日時 9月29日(土)

<講演> 14:00～15:00

<意見交換> 15:00～16:00

場所 みえ県民交流センター

イベント情報コーナー(アスト津3階)

対象 会員、一般市民

参加費 100円(資料代)

申込締切 9月25日(火)

主催 川づくり会議みえ

問合せ先 Tel 090-5637-0727(久世)

HP <http://kawamie.iinaa.net/>

環境への取り組みを募集

平成24年度『みえ環境大賞』

三重県では、今年度『みえ環境大賞』を創設し、環境保全活動に取り組む個人・団体等を表彰する「環境活動部門」と、環境経営に取り組む企業等を表彰する「環境経営部門」の2部門において募集を行っています。

受付期間 9月30日(日) 当日消印有効

対象団体 「環境活動部門」

個人またはNPO、自治会、企業、学校等の組織

「環境経営部門」

県内に事業所等を置く企業、病院、学校、NPOなどの組織

対象活動 県内で過去3年以上行っている次のような活動・取り組み

「環境活動部門」

①地球温暖化防止、②地域環境の美化、③野生生物の保護や自然環境の保全、④普及啓発活動、⑤ごみの減量化・再利用・再生利用、⑥里山保全や森林保全、⑦環境保全の取組を支援する活動等

「環境経営部門」

工場やオフィス等の生産・事業活動、製品・サービスの提供等における環境保全の取組で、環境・経済・社会の3つの面でバランスの取れているもの。

表彰 三重県知事から表彰状授与、記念品を贈呈

応募方法 HPより応募様式をダウンロードし必要事項を記入、活動内容・成果等がわかる参考資料を添付し、郵便またはE-mailで送付。

問合せ先 三重県 環境生活部

地球温暖化対策課

〒514-8570 津市広明町13

Tel 059-224-2366

Fax 059-229-1016

メール earth@pref.mie.jp

HP <http://www.eco.pref.mie.lg.jp/>

知りたい!世界のNPO・地域コミュニティトーク (第1回) 「フランス流 ソーシャル活動」

三重県に在住の諸外国の方に、祖国のNPO・ボランティア活動の状況や、地域コミュニティのあり方などをご紹介いただき、国際理解を進めるとともに市民活動の比較を行うシリーズの第1回目の開催です。

日本でも原発反対などの市民運動が高まりを見せていますが、“ところ変われば市民活動も変わる”。フランスではどのような背景で、どのような市民運動が活発化しているのでしょうか?

第1回目は、三重大学人文学部准教授のグットマン・ティエリーさんに「人間らしく、地球にやさしい生活を目指す!」をスローガンとした

- ・原発反対、代替エネルギー開発
- ・経済の縮小化
- ・過剰広告の撲滅提唱

などのアクションを起こすフランスの市民活動を紹介していただきます。

どうぞお気軽にご参加ください!

日時 9月15日(土) 17:00~19:00

場所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

対象 どなたでも

参加費 無料

募集人数 30名

応募方法 Tel、Fax、E-mailのいずれかで、氏名・電話番号・メールアドレスを連絡。直接窓口での申込みも可。

応募締切 9月13日(木)

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
〒514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

HP <http://www.mienpo.net/center/>

「共感と信頼をつくる ソーシャル系情報発信とその支援」セミナーの報告

平成24年8月9日に、アスト津3階のみえ県民交流センターで、みえNPOネットワークセンター主催の情報発信セミナー「共感と信頼をつくる ソーシャル系情報発信とその支援」を開催しました。

講師に日本財団CANPANプロジェクトの山田泰久さんをお迎えし、中間支援団体のスタッフを対象にNPOの情報発信についての現状と課題を整理しながら、情報発信力を強化して共感と信頼を得るコツをお話しいただきました。参加者は、三重県内各地から(北は桑名から南は尾鷲まで)、30人ほど集まり、その中のおよそ3分の2が、すでにソーシャルメディアを活用しているもしくは、活用したことがある方で、山田さんが今まで行ってきた他のセミナーよりも活用率が高かったようです。スタッフと参加者により、ツイッターやfacebookでの中継も交えながら行われました。

セミナーでは、ソーシャルメディアそれぞれが持つ特徴を活かし、ツイッター、facebook、ブログを連動させて発信することで、より多くの人の目に触れ、NPOの情報発信&収集を積極的に行うことができ、また、リアルに伝えていくことで、共感と信頼をつくり、支援へつながることを学びました。

終了後のアンケート結果では、9割を超える参加者が「満足」と答えるなど、参加者にとって非常に有意義なセミナーとなりました。



当日使用された資料は、山田さんが書かれているCANPANブログでご覧いただけます

<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/376>

「第3回三重県新しい公共円卓会議」 開催のお知らせ

テーマ 新しい公共推進指針中間案の検討

日時 平成24年9月1日(土) 14:00~16:00

場所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー

主催 三重県 協力:三重県自治会連合会

問合せ先 (特活) みえNPOネットワークセンター事務局 四日市大学
市民社会研究所内 Tel 059-363-3539

E-mail : ssk21ww@yahoo.co.jp

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保で融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



NPOのための なんでも相談会

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は? 職員を雇う時の手続きは? 助成金をとりたいけど・・・など、NPO に関するご相談に応じます。

※抽選のため、相談日の1週間前にはお申込みください。

- 【日 時】** 2012年9月1日(土) 11:00~12:00
2012年10月12日(金) 10:00~11:30
- 【対 象】** NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心のある市民など
- 【相 談 員】** 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター 理事長 服部則仁
- 【場 所】** みえ県民交流センター(アスト津 3階)
- 【お申込み先】** みえ市民活動ボランティアセンター
Tel: 059-222-5995 Fax: 059-222-5971
E-mail: center@mienpo.net



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

- ◆ C'sブックレット・シリーズ No.9
とろぞ!! 認定NPO法人~認定NPO法人制度の概要から申請書の書き方まで~
平成23年度税制改正対応版 協坂誠也著
発行: 特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
発行日: 2011年11月1日
- ◆ C'sブックレット・シリーズ No.10
徹底比較! NPO法人 VS 新公益法人
協坂誠也著
発行: 特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
発行日: 2009年10月1日
- ◆ 生活支援サービス立ち上げ支援ガイド
生活支援サービスに取り組むNPOの設立と運営
監修: 特定非営利活動法人日本NPOセンター
発行: 社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉部・全国ボランティア活動振興センター
発行年月: 2010年3月

NPO相談



日頃受けている相談内容から順次、ご紹介していきます。

Q NPO 法人を設立しようと考えているのですが、メリットとデメリットを教えてください。

A メリット・デメリットとして捉えるのではなく、NPO法人化することで「可能になること」や「発生する責務」を考えながら、NPO法人化するかどうかを検討されるとよいでしょう。一見、実務が大変でデメリットと思えることでも、それをやりこなすことで、団体の信頼を高めたり、活動を拡大することにつながります。

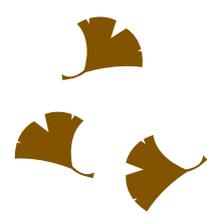
- ### 可能になること
- ・責任の所在をはっきりできる
 - ・ルールにそって運営できる
 - ・資金のながれをはっきりできる
 - ・非営利だとはっきりできる
 - ・社会的信用を高めることができる
 - ・団体として契約できる
 - ・団体として資産を持つ
 - ・団体として納税できる
 - ・出損金ゼロで法人を設立できる

- ### NPO 法人の責務
- ・あいまいさは通用しない
 - ・運営の事務に手間がかかる
 - ・運営・財務・事業の情報を開示する
 - ・剰余金を自分たちに分配できない
 - ・理事の構成に制限がある
 - ・過失事故の責任は理事が負うことも
 - ・解散して残った財産は他者のもの
 - ・活動しなくても納税する
 - ・正当な理由なく入退会を断れない

* NPO 法人だけに限らず、いろいろな法人格(株式会社、一般社団・財団法人、社会福祉法人、事業協同組合など)や、任意団体でも有限責任事業組合などもあります。「目指している目的を達成するのに最も良い方法」をさまざまに検討される参考になれば幸いです。

認証した特定非営利活動法人
(2012年7月10日~2012年8月9日認証分)

- ①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者
- ①特定非営利活動法人 三重市民風車プロジェクト
②津市西丸之内 2 番 17 号
③まちづくり、環境
④2012年8月7日
⑤理事長 石倉 紀男
- ①特定非営利活動法人 あかり
②北牟婁郡紀北町紀伊長島区三浦 441 番地 7
③保健、経済活動
④2012年8月8日
⑤理事長 宮地 忍



「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 6 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】 (津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコロジート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

環境にやさしい植物油インキを使用しています。